



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：AIC テヘラン事務所開設問題

(10月6日付現地各紙)

10月6日、ガシュガーヴィー外務報道官は、定例記者会見においてイラン・米国評議会(AIC)のテヘラン事務所について発言している。同氏発言及び動きについての概要以下の通り。

1. (米国は AIC のテヘラン事務所開設を試みているとの報道につき問われ) 事務所開設に関しては、米当局より、イランに対し何ら正式な要請は行われていない。このような主張はマスコミの憶測に過ぎない。

2. 6日現地紙「エエテマード・メッリー」紙は、「テヘランにおける米国の外交事務所開設の遅延」と題して、AIC テヘラン事務所開設に対するモッタキ外相およびボルジェルディー国会安保外交委員長の反応などにつき報じている。

(1)アミール・アフマディ AIC 会長は、イラン・米国評議会のテヘラン事務所開設につき、これはイランにおける米国の利益代表部設置の前段階となるのかと問われた際、「この二つは全く別物である。AIC は、非政府・非営利目的の組織であり、イラン・米国両政府と何ら関係を有していない。自分はAIC テヘラン事務所開設が次の動きに向けた前段階であるとは考えていない。しかし私個人としては、そのような動きが起こればいいと思っている。

(2)モッタキ外相は、「米国が、イランにおける AIC 事務所開設を認可したことにつき、これは米国政府による特別な政治的意思によるものではないと解釈している」と述べた。

(3)ボルジェルディー国会安保外交委員長は、AIC テヘラン事務所開設を激しく非難した。「アミール・アフマディ AIC 会長は、米国の手先である仲介者であり、このような人物による事務所開設の正当性は受け入れ不可能なものである。イラン政府は米国政府の手先である人物に対してこのような事務所の開設を許可してはならない」と述べた。